

第8回 市民参加部会作業スケジュール

		令和4年度											令和5年度		
		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月		
会議日程	部会開催日			8月25日	9月8日	9月22日 全体会	10月13日	11月10日	12月8日	1月12日	1月22日	2月9日	3月9日		
	運営協議会開催日									交流会					
1. センターイメージチェンジ事業				事業内容検討		今年度実施事業の検討		制作準備		wish tree の制作・設置・試験運用		次年度実施に向けた検討			
2. 発信力向上事業				事業内容検討		市民参加部会としての検討				広報部会との意見調整					
3. 市民交流参加事業				事業内容検討		準備・人選・内容・日程・会場・申し込み方法等		参加者募集		1月22日		次年度実施に向けた検討			

「今回の検討課題」	「前回の検討結果」
<p>1 議題</p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. センターイメージチェンジ事業 (ウィッシュツリーについて) 2. 市民交流参加事業 (1月22日交流会について) 3. 発信力向上事業 (広報委員会との協議の進捗状況) <p>議題2 次年度実施事業の準備スケジュールについて</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. センターイメージチェンジ事業 ウィッシュツリーについては交流会でのワークショップと連動させる ウィッシュツリー以外の企画について(月替わりパネル展示 市民団体・地元企業) 2. 発信力向上事業 次年度に実施可能な企画について検討する 3. 市民交流参加事業 <ol style="list-style-type: none"> 1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回(夏休み・冬休みがよい) 2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回 (他の講演会が開催しにくい時期に担当可能な団体に講演依頼を打診する) 3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会 × 2回 (セブンイレブジャパン シモジマ) <p>交流会日程検討(2023年)</p> <p>5月7日(日) wish tree 制作ワークショップ</p> <p>6or7月 企業企画</p> <p>8月or9月 学術・教養系の方を講師とする講演会</p> <p>10or11月 市民団体企画 or ワークショップ</p> <p>1月～3月 学術・教養系の方を講師とする講演会</p>	<p>第7回検討結果要約 <議事概要></p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. センターイメージチェンジ事業(原口副主査、南山委員) 原口副主査・南山委員より現在の事業の準備状況を報告していただいた。 ■ウィッシュツリー(期間12月15日～2月4日まで) 冬休みに入って子供連れが多くなり絵が貼られることが多くなった。どのように実際の市民活動につなげてゆかか考える必要がある。 遠目で見ても分かるような“タイトル”など改善点について検討する。 TREEのベースとなるイラストやツリー自体の制作を行うワークショップについては5月7日(日)に2023年度市民参加部会主催第1回交流会として実施する方向で検討する。“アトリエないろ”の相澤さんに講師を打診予定。詳細については今後検討する。 市民団体の活動への導入として、モノづくり系の市民団体とのコラボレーションについても検討する。 2. 発信力向上事業について(海老田委員) 海老田委員と広報委員会との次回打ち合わせは1月26日(木)15:00からを予定している。SNSなどを導入した時の持続性や基本技術・リテラシーなどが議論されていることが報告された。 3. 市民交流参加事業について(依田委員) 資料2-1から2-4に基づいて、講演会の詳細について検討した。最終参加者数39人(予定定員32人)はテーブルを増やすことで全員受け入れることになった。アンケート(案)についても一部修正の上、了承された。 座学の講座の場合、講座のテーマなどに関連する市民団体とのコラボレーションやワークショップの場合に市民団体を講師として招聘するなど。 市民交流参加事業は2か月に1回、年に6回程度の交流会を行うことを検討する。 交流会の内訳 1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回(夏休み・冬休みがよい) 2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回 (他の講演会が開催しにくい時期に担当可能な団体に講演依頼を打診する) 3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会 × 2回 (企業にとって出やすい時期を先方に打診する)

全体会での報告内容と当日の質疑応答
前回全体会の議論を踏まえて今年度を実施予定の2つの事業について進捗状況を報告した。

1. センターイメージチェンジ事業 wish tree 制作報告

2. 市民交流参加事業 1/22 交流会進捗状況報告

周知事項

次年度実施予定事業

市民交流参加事業は2か月に1回、年に6回程度の交流会を行うことを検討しています。講師となる個人・団体についてアイデアを募集致します。

1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回(夏休み・冬休みがよい)

2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回
(他の講演会が開催しにくい時期に担当可能な団体に講演依頼を打診する)

3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会 × 2回 (企業にとって出やすい時期を先方に打診する)

センターイメージチェンジ事業

4月以降も新しいテーマでWish treeを継続したいと思っています。新しいテーマやデザインのアイデアがあれば、ご紹介ください。

検討事項

センターイメージチェンジ事業

入りやすい雰囲気づくりとして、市民活動サポートセンター内で実施可能なディスプレイや展示物についてアイデアがあればご紹介ください。施設自体のつかいやすさの向上を図るユニバーサル化事業についてもアイデアを募集いたします。

【今後の課題】 ウィッシュツリーを市民活動サポートセンターの入り口に設置すると、市や役所(総合窓口センター)が実施しているように見える可能性がある。市民活動サポートセンターが実施していることが分かるような工夫をしていただきたい。

発信力向上事業(海老田委員)

センター自体の情報発信媒体としてFBやtwitterのアカウント開設について、広報部会などと継続検討しています。

また既存の市民活動サポートセンターのイメージキャラクター“アットワン”、“アットキャン”の活用についても検討が必要です。

【今後の課題】 SNSの運営について、持続性の問題から広報部会と検討を進める必要がある。

その他継続審議が必要そうな内容

1. センターイメージチェンジ事業

1 歩目の導線策定→船橋セレクションの入り口設置。

快適性の確保→キッズスペースを配置。

2. 発信力向上事業

発信機能の構築→SNSアカウントの開設、SNSコンテンツの開催、ロッカーの活用。

3. 市民交流参加事業

外部専門家の講演・ワークショップ→座学だけでなく啓発交流の場を構築する。専門家のみならず南山委員等、市民団体とも連動し、幅広いワークショップなどの企画で市民活動サポートセンターの利用者層を広げる。

地元の企業が参加・発信できる場を提供してほしいというリクエストがあった。2023年については企業・団体との交流会の招聘予定企業は決まっているので、2024年度以降また、他の企画(1歩目の導線策定→船橋セレクション)で地元企業紹介パネルの展示などを検討する。

Q: 地域貢献をされている地元企業と連携した方が良いのではないかと

A: 地元企業とつながりのある委員がいなかったため、まずは委員と繋がりのある企業企業と事例を作ってから、地元企業に広めてゆきたい

Q: 参加者の連絡先を取得するなど、継続的に情報発信を取得するのはいいかと

A: 構想としては考えています

第6回検討結果要約 <議事概要>

1. 第6回市民参加部会作業スケジュールにて前回部会での議事内容を確認した。

2. センターイメージチェンジ事業(富沢主事、海老田委員)

富沢主事・海老田委員より現在の事業の準備状況を報告していただいた。

課題やリクエストなどを受け取ったり、つないだり、実現に向けた示唆を提示するようなテーマ設定のTREE作成は次年度以降に検討する。TREEのベースとなるイラストやツリー自体の制作についてもワークショップとして実施するような企画も考えられ、これについて次年度の企画として検討する。

■ウィッシュツリー写真撮影および作成12月15日(木)10:00～12:00(予定) ■タイトル: 船橋のここがいいね! ■ツリー貼り付け(柱に貼りつけ) 期間12月15日～2月4日まで ■期間終了後の報告・書き込まれた内容の文字おこし+写真を期間後に保管(資料2エコメッセちば2022「葉っぱアンケート」結果参照)電子ファイル化はこなうが、公開方法については今後検討する。

3. 市民交流参加事業について

3-1. 早稲田大学教授 向後千春先生による対話形式講演会。12月12日から電子申請システムにて申し込み開始される。

3-2. 企業のCSR活動紹介企画(柴田委員)

柴田委員から次年度に予定されている企業関係者を講師として迎えた交流会について、準備の進捗状況が報告された。セブンイレブんとシモジマの本社を訪問し、ワークショップ型の市民交流企画を依頼し、今後具体的な検討に入れることになったことが報告された。

4. 発信力向上事業について

資料4. 発信力向上事業 広報部会との打ち合わせ資料(市民協働課作成)に基づき、海老田委員から進捗状況を説明していただいた。

5. 次年度実施事業の準備スケジュールについて
市民交流参加事業は2か月に1回、年に6回程度の交流会を行うことを検討する。

交流会の内訳

1. 学術・教養系の方を講師とする講演会 × 2回(夏休み・冬休みがよい)

2. 市民団体・市内で活躍する市民の方を講師とする講演会 × 2回
(他の講演会が開催しにくい時期に担当可能な団体に講演依頼を打診する)

3. 地元企業や船橋で事業を行っている企業・団体の関係者を講師とする講演会